

2024年3月17日（日）／説教者：神谷武宏

説教：「自分の十字架を背負う」

聖書：マルコによる福音書 8：31～9：1

何故、イエスは「あなたは、メシアです」（マルコ 8:29）と告白したペトロを叱ったのか？ それはペトロ自身に、理想のメシア像、キリストに対するイメージが出来上がっていたからである。自分のキリスト像にそぐわなければ、たとえイエスご自身が発した言葉であっても、それを「いさめ」（8:32）てしまう。そのペトロの姿勢にイエスは怒ったのである。ペトロは「いさめ」、イエスは「叱る」。私たちはどうか？ 「人の子」としてのイエスを、一人の人間としてのイエスを、私たちの救い主だと信じているのか？ ペトロはそれが出来なかったがゆえにイエスから厳しく叱られたのである。

当時十字架は、主に国家への反逆罪に問われた者が処せられる最も重い刑であった。耐え難い苦痛と共にさらし者にされ、見せ物にされる屈辱を伴う過酷な刑である。十字架を背負って刑場まで歩かなくてはならない。それも刑罰の一部。沿道の人々から笑われ、白い目で見られ、なじられながら歩くその屈辱は、肉体的な痛みだけでなく、精神的な痛みを負わせるのも十字架と言うものであった。「十字架を負う」とは、自分の徳が高められたり、偉くなったりするものではない。イエスがおっしゃった「自分の十字架を背負いなさい」とは何かを考える時に、イエスというお方が何とたたかい、何故十字架刑へと向かわざるを得なかったのか？ そのことを見る時、おのずとイエスがおっしゃった「自分の十字架を背負いなさい」とは何か、見えてくるのかと思う。

先週、普天間基地に配備されているオスプレイが、去年 11 月に鹿児島屋久島沖で墜落し、乗組員 8 人全員が死亡するという事故後、十分な説明もなく飛行再開された。私たちの上空を、緑ヶ丘保育園の上空を、何機も飛び交って行く情景を見せられ、余りにも不条理な状況の中に置かれている沖縄を見せられて怒りを覚えた。米国や日本の各地に配備されているオスプレイ、日本では沖縄以外に横田基地 木更津駐屯地に配備されているが、今飛んでいるのは沖縄だけ。沖縄で最初にテストし、大丈夫だったら他でも飛ばしましょうと言っているようなもの。本当に悔しい。沖縄が馬鹿にされている。沖縄に課せられた十字架を見る。

先週金曜日に「オスプレイの飛行停止を求める緊急抗議集会」が県民広場で行われたが、参加者は殆どお年寄りばかり。いつまで沖縄のお年寄りにこの十字架を背負わせるのか？ ただ、沖縄のお年寄りは沖縄戦を知るゆえに自分の十字架として背負っておられるのであろう。でも、もう背負わなくてもいいよと言えるような沖縄にしなければならない。（神谷）